



2002年01月11日

**2001年度累計登録台数、2年連続輸入車史上最高の61,121台を達成
2002年も勢いを持続し、初の63,000台を狙う**

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)がまとめた登録台数によると、フォルクスワーゲン ブランドの2001年12月の登録台数が4,719台(対前年同期比97%)を記録、2001年度(暦年)の登録累計台数が61,121台(対前年比 + 2,640台、105%)に達し、2年連続で同社及び輸入車史上でも単一ブランドとしては過去最高の記録を更新しました。

従来 of 暦年における最高登録台数は、2000年に自社が記録した58,481台でした。

2001年度に史上最高の登録台数を記録した原動力としては、1999年に新規導入した**ニュービートル**の販売が依然として高水準を維持している事や、更に2000年2月にフルモデルチェンジを行った**ゴルフ ワゴン**、そして同年5月に発表した**ポロ**の販売台数が年度を通して貢献すると共に、旧年7月に導入を開始した**新型ルポ**により、効果的に台数の上積みになったこと等が挙げられます。

また、商品力の強化以外にも、昨年1月より実施したフォルクスワーゲンディーラーの専売店化や、フォルクスワーゲン東大阪、フォルクスワーゲン江戸川等に代表される来店誘引型販売店へのアップグレード/リロケーション等を実施することにより、高い販売効率を達成し、新規ユーザーの獲得を図ることができました。更に"フォルクスワーゲン フェスト"等の各種ユーザーイベントの実施によって、フォルクスワーゲン オーナーを対象とした、ブランドの体験の場を多数提供することにより、今後も引き続きロイヤルカスタマーの獲得を目指していきたいと考えています。

フォルクスワーゲンでは、昨年から今年にかけての好調な勢いを持続する為に、本年1月から主力車種であるゴルフ、ゴルフワゴン、及びポロの一部価格改定を行い、更なる価格競争力を高める一方、本年半ばには**新型ポロ**や**パサートW8**等の新規投入を予定するなど、年初から積極的な拡販策を実施していきます。また1999年秋から始まった一連のブランドキャンペーンによってブランド変革のアピールを継続していくことによって、2002年度は輸入車史上初の63,000台を目指し、3年連続となる輸入車年間登録台数NO.1のポジションを堅持していきます。